

## ”遠い国の歌”

”CANCIONES DE CUNA”(子守唄)  
Alberto Grau 作曲《ベネズエラ》

”SALMO 150”(詩篇150)  
Ernani Aguiar 作曲《ブラジル》

”TRÊS CANTOS NATIVOS DOS INDIOS KRAÓ”  
(三つの民謡)

Marcos Leite 編曲《ブラジル》

”TE QUIERO”(愛しています)

Alberto Favero 作曲 Lilitana Cangiano 編曲《アルゼンチン》

”EL GUAYABOSO”(ほらふき)

Guido Lopez-Gavilan 作曲《キューバ》

指揮/ 西牧 潤

## 宮城県民謡 ”遠島甚句”

宮城県民謡 清水 脩 編曲

指揮/ 天野裕介



## A. Bruckner モテット集

Anton Bruckner 作曲(1824-1896)

”Os iusti”

”Locus iste”

”Ave Maria”

”Christus factus est”

指揮/ 天野裕介

## 組曲 ”スピリチュアルズ”《オリジナル版》(2007)

ラングストン・ヒューズ 作詩 木島 始 訳詩

信長貴富 作曲

指揮/ 西牧 潤

ヴァイオリン/ 中嶋 弥生 コントラバス/ 赤松美幸

パーカッション/ マイケル・チン、横山堅司 ピアノ/ 高橋 玲子

## ”ことばあそびうた・また” (2007)

混声合唱とピアノのために

谷川俊太郎 作詩

北爪道夫 作曲

指揮/ 天野裕介 ピアノ/ 中野園子



The Voicefield Chorus

Hyogo Japan

Since 1977

8  
月

28  
日

日

開演 14:30 (開場 14:00)

伊丹アイフォニック・ホール

(阪急伊丹駅東北徒歩4分・JR伊丹駅西徒歩7分)

主催・演奏 合唱団ボイスフィールド

後援 JCDI 日本合唱指揮者協会

入場料 1,000円(全席自由席)

連絡先 090-9026-5843(やはた)、070-6680-9897(いけべ)

e-mail info30@voice.gr.jp URL http://www.voice.gr.jp

# 第34回合唱団ボイスフィールド定期演奏会

# 合唱に興味のなかった人にも聴いてほしい



コーラスめっせ2011 (いづみホール)

みなさんお元気におすごしですか?

合唱団ボイスフィールドは33年間、芦屋を中心に活動を続けてきました。当時20代だったメンバーも今は50代。新しいメンバーも加えて幅広い年齢層の健全な社会人合唱団に成長しました。

みなさんは「星の王子さま」ってご存知ですよね。サン＝テグジュペリの小説です。その書き出しに「おとなは、だれも、はじめは子どもだった。しかし、そのことを忘れずにいるおとなは、いくらいもない。」とあります。私たちは「子どもの心を忘れないおとなの合唱団」でありたいと思っています。

ボイスフィールドのメンバーが歌っているところを是非ご覧になってください。会社の偉いさんも先生も、主婦も学生もみんなきらきら輝こうとしているのに気付かれるでしょう。「合唱はみんなの心を一つに…」あたりまえのことですが、私たちはあえてひとり一人、別々の人間として輝いていたいと思っています。いつも「歌い手ひとり一人の顔が見える演奏をしたい…」そう思っています。

創立から34年、「ボイスフィールド」の名のとおり「世界中を歌の野原にしたい」そんな夢を今も追い続けて、さまざまなジャンルの歌をレパートリーに加えてきました。

ボイスフィールドらしく、渾身のプログラミングで今年も歌います。8月28日、伊丹でお会いしましょう。

## <<今年の聴きどころ>>

### “遠島甚句”

あの日以来ずっと考え続けた。募金もした。私たちにできることは何だろう…。ひたすら祈ること、それは私たちにとってはひたすら歌うこと。三陸の海に勇壮なこの歌が帰ってきますように。

### “遠い国の歌”

今年は南米の合唱曲に取り組みました。時に情熱的に、時に情緒豊かに、人々の心を直接揺さぶるメロディーやリズムが特徴です。

### “ことばあそびうた・また”

ことばにはリズムがある。どんな言語でもそう。谷川俊太郎の音楽と、北爪道夫の言葉が出会う。

### “ブルックナー モテット集”

ドイツロマン派、合唱が一番輝きを持っていた時代の一つです。オルガニストだったブルックナー、合唱がまるでオルガンのように響く。

### “スピリチュアルズ”

ラングストン・ヒューズの詩の持つ強さ、明るさに触れたら、「もう歌わなあかんやろ…」そんな気持ちになった。ゲストのアンサンブルのみなさんとボイスフィールドとのコラボにもご期待。



合唱団ボイスフィールド

合唱連盟の機関誌「ハーモニー」2011年春号に合唱団ボイスフィールドが紹介されました。

「今の合唱界は無邪気に遊べるころが少ない。うちは音楽がわからなくても楽しんでやっちゃう」と合唱団ボイスフィールド指揮者の西牧潤さんは笑う。キューバ作品の複雑なリズムに目を白黒させながらも、みんな笑に幸せそうで、練習場は爆笑の連続

た。県立芦屋高校コーラス部のOBが集まって四半世紀。顔ぶれが変わっても、自由闊達な高校の空気が個性として残っている。宝塚少年少女合唱団、芦屋市民オペラなど西牧さんが指揮者を務める団体との協働で幅を広げ、「何を待たなくてもあまり抵抗されないから」青島広志さんのシアターピースや、芦屋交響楽団との共演など、選曲も意欲的。34回自の定期(8月28日(日)伊丹アイフニックホール)では多様な海外作品に取り組む。

「一等賞になりたい人より、おもしろいことをやりたい人の集まり」と西牧さんはいう。若き指揮者天野裕行さんとともに、目指すは「一人ひとりの顔がちゃんと見える演奏」だ。

合唱・日本列島44

## 合唱団ボイスフィールド メンバーいつでも募集中

練習日：毎週日曜日 18:00~20:30(夏期は17:00~20:00)

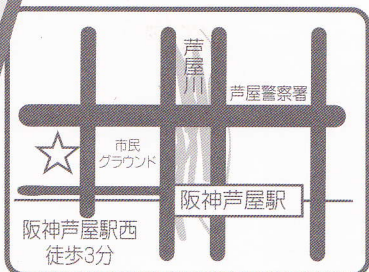
会場：原則として 芦屋市立青少年センター 音楽室

団費：一ヶ月1500円(学生500円)

練習場や時間は変わることがあります。お問い合わせください

090-2064-2339(おく)

info30@voice.gr.jp



NEXT CONCERT 11/6 芦屋合唱祭(ルナ・ホール)  
12/3 クリスマスを待ち望むコンサート<with 新月会&KCクローバー>(芦屋聖マルコ教会)

